

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年5月22日 ～ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅱ》</p> <p>ア. ニーズの把握及び広報、相談体制に関すること</p> <p>イ. 設置に関すること</p> <p>エ. 都道府県・市町村間の連携に関すること</p> <p>オ. その他夜間中学新設準備に関すること</p>
調査研究のねらい	<p>本県では、令和3年4月の公立夜間中学の設置を目指して、平成29年度より、県民への広報、ニーズの把握、学習会や県外学校視察による情報収集等を行ってきた。平成30年11月から市町村の理解と連携、詳細なニーズ把握を目的とした「夜間中学体験学校」を県内5市町村5会場で開催した。これまでの研究を通して、夜間中学の必要性を再認識するとともに求められている学びの質の多様性から、設立に向けた情報収集、協議が必要であることなど課題が明確となった。</p> <p>平成31年度の研究では、市町村と連携してニーズを把握、広報活動を行いながら、外部の方を中心とした設置準備委員会を開催し、設置主体や入学要件、教育内容などについての意見を集約するとともに、県民の希望する学びを提供することができる夜間中学の設立に向け、準備を進めていく。</p>
調査研究の成果	<p>地域ごとの入学希望者の動向等、詳細なニーズ把握や広報活動のため、平成30年度に引き続き「夜間中学体験学校」を県内13会場延15回開催した。（平成30年度開催分と合わせると18市町村で延20回、総参加者263名）</p> <p>体験学校は、各自治体と連携を図り開催したことで、各市町村教育委員会事務局職員や首長部局職員、地域の民生委員などの参加もあり、2次的な周知の広がりがみられた。また、テレビ、新聞、地元ケーブルテレビ等のメディアに取り上げていただくこともあり、地域ごとの広報活動という点では大きな成果があった。</p> <p>体験学校参加者へのアンケート自由記述項目においては、体験学校参加者＝夜間中学の入学要件を満たす者ではないため、入学希望者の動向などの十分なニーズ把握とはならなかったものの、設置場所に関するもの、通学・入学要件に関するもの、就学内容に関するもの、広報・周知に関するもの、今後に期待する声や真</p>

に周知が必要な方々への周知活動が不足している点を指摘する声があり、今後の取組を進めるうえで大変参考となった。

また、各分野の有識者等に委員を委嘱した「高知県公立中学校夜間学級設置準備委員会」を令和元年12月に設立、令和2年2月とあわせて2回開催した。当委員会では、これまでのニーズ把握調査や体験学校でのアンケート内容等を踏まえ、委員から設置主体、設置地域、入学対象者、在学期間、教育内容、市町村との連携、対象者への周知方法等、多面的・多角的な視点から高知県における夜間中学設置準備に向けた貴重な意見をいただくことができた。委員として出席していただいた2市の教育長からは、夜間中学担当の窓口設置や生徒支援のために継続した連携協議会の開催について前向きな回答を頂くことができた。

これらのことにより、高知県にふさわしい夜間中学の姿、現実的に設置可能な夜間中学の姿がどのようなものなのか、具現化に向け多面的に検討を進めることができた。

今後は、夜間中学開校に向けた広報周知活動を継続するとともに、令和3年度開校に向け、使用施設をはじめ、教育課程や教育内容及び生徒募集に関する要件や諸事項の具体的な検討・整備を行い、準備を進めていく。